

# 「教科書準拠」の 学びの終焉



教科書に載っているものが「正解」。反復する。覚える。テストでは、覚えた知識を丸ごと「再生」する。——そんな昔は有効だった「教科書準拠」の学びは役目を終えるでしょう。スタティック(静的)に知識が順序立てられ、答えもプロセスさえも決まっている世界。ずいぶん「特殊」な学校という世界です。世の中の課題や問題は、常に動的で、答えも動的、そのときどきに決めるもの。答えが変化するのがあたりまえの現実の中で、自分はどうのように動き、仲間と協働し、自分ごととして考え、意見を持ち、相手にそれを伝えるか。着地点だけでなく、プロセスの多様性が学びの対象。共有や共感。貢献する気持ち。そんなチカラを育み、能動的に学ぶ大人を、時代は必要としています。

例えば、日本でも高い関心を集めているOECD(経済協力開発機構)のPISA(国際学習到達度調査)。PISA 2015では、「協働型問題解決能力」が新たな科目として加わりました。PISAが測ろうとしているのは、仲間と協力して問題解決にあたる力。そして、大学入試改革

で叫ばれている主体性・多様性・協働性——先生が一方的に教えるのではなく、子どもたちどうしが学び合う「アクティブ・ラーニング」。

日能研は、環境も、人も、授業も、テストも、そしてテキストも、子どもたちが常に「アクティブ」に学ぶための準備をしています。まさに、子どもの学びが真ん中。だから日能研のテキストは、子どもたちが「考える」を動かし続ける、学びを大きく育てる「アクティブ・ラーニング」なテキスト。新聞記事や、小説やコラムの一節、写真や統計資料など、子どもたちが「いま」に没頭し考えられるものはすべて「テキスト」の素となり得ます。当たり前の常識と思われているものの中に発見する問い。それが学ぶこと。正解が一つに決まっている、学びのすべてが教科書なんてつまらない。

あたりまえを飛び越え、未知を楽しむ。自ら考え、自らの答えを出す。その学びこそが、私学へ、未来へとつながると日能研は信じています。

<日能研全国テスト>で、どうぞ体感してください。

私学に、未来につながる学び、日能研で。入り口はこのテスト——秋、始める、日能研。



[科目] 2科目(国語・算数)  
[時間] 1回目 9:00集合  
2回目 13:00集合  
[会場] お近くの日能研各校

▶保護者会同時開催◀

今回の全国テストについて、そのねらいや今後の学びなど、詳しくお話しします!

学校行事などで都合がつかない場合は、お気軽にご相談ください。

テストの詳細・お申し込みは [日能研](#) 検索  
または、お近くの日能研へ!

会場により時間が異なる場合があります。詳しくはホームページをご覧ください。



ヒルガエル  
公式HP  
www.kaeru-chan.jp

▼携帯端末からは  
こちら

